

授業デザインシート

3年2組	教科	英語	授業者	前原千代美	本時	6/8
単元・教材名	An Artist in the Arctic				場所	3年2組
指導目標	・ 未来の鹿屋をより良くするためにできることを英語で話することができる。					
「主体的・対話的で深い学び」を目指す共通実践事項						
①基礎基本の確認 ②声出し・先読み ③学び合いの学習 ④自分の言葉で説明 ⑤一問のチャレンジ						
	主な学習活動	場 時間	共通 実践	指導上の留意点・形成的評価【●】		
導入	1 Greeting 元気よく挨拶をする。 曜日, 日付, 天気, 時間を確認する。 2 Warm up テーマについて自分の考えを話す。その後話したことをノートに書く。 3 Review 前時までの学習内容に関する質問に答える。 4 Retelling 星野道夫さんについて学習したことを自分の英語で話す。 5 学習目標の確認をする。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> 学習目標 未来の鹿屋をより良くするためにできることを発信しよう。 </div>	15	① ② ① ①	<ul style="list-style-type: none"> ・ 元気よく挨拶ができているか。 ・ 英語学習に意欲的に取り組もうとする雰囲気作りをする。 ・ 既習語句を活用できているか。 ・ 間違いを恐れず積極的に書こうとする雰囲気作りをする。 ● 質問に対する適切な応答ができているか。 ・ 前時まで学習した内容の概要や要点を積極的に英語で話せているか。 		
展開	6 Group work SDGsの視点から自分の街をどのような街にしていきたいか話し合い, 発表の準備をする。 7 Presentation グループでプレゼンテーションを行う。プレゼンテーションを聞き, コメントや質問, 意見交換を行う。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> ゴール 未来の鹿屋をより良くするためにできることを発信しよう。 </div>	30	③ ④ ④	<ul style="list-style-type: none"> ・ 自分で考えてきたキーワードや簡単な英文をグループの仲間と共有する。 ● より良い街を作るためのアイデアとして文脈や表現をどう工夫すれば良いかを考えているか。 ● 鹿屋をよくするための提案とその理由を述べられているか。 ・ 聞き手にとってわかりやすく話ができているか。 ・ 発表者の良かったところについてコメントしたり, 内容を深めるような質問ができているか。 		
終末	8 Reflection 本時の振り返りをする。 9 Assignment 次時の予告をする。 10 Greeting 終わりのあいさつをする。	5		<ul style="list-style-type: none"> ・ 何を通してどんなことができるようになったかを振り返らせる。 		